

伯刺西爾時報

日本呼ばはりは
遺憾千萬

日本呼ばはりは、いかにも日本風の言葉で、日本が世界に影響を与えることを示す。遺憾千萬は、日本の失敗や不運を意味する。

ジユキア沿線に

六十年來の大洪水

濁水沿々として阿臘地獄

交通通信一切杜絕

豫算會議終る

家もろとも

流されたり七基米

邦人被害を語る

査中であるが、早苗米は全く流し、其の被害甚大なものが想像される

所に起り、同地帯の交通通信は一時絶え、これが復舊には約二ヶ月を要する見込みであるが、同地附近在住者の被害は目下調

の話では實に六十年來の大洪水である

邦人の被害は未だ判明しないが

アレクリン附近に於ては婦人一名、子供二名が漏洩に死はれ死

亡したのが始め、駅附近の邦商五軒が家屋流失、現金數コント

その他の家庭道具が失つた

豫算會議は三日間に開かれた後十五日から聖市總理事務に開

北伯巡査終へた林

歸府

大使

大體議了、十八、十九、二十日は黒澤一等書記官を迎て財局問題として排日問題に対する意見

去る廿二日無事より開催したが交換、これが對策を協議したが一般に現監政會議の移民問題は

豫算會議終る

去る十七日午前中から降り始めた豪雨は同日終日止まず、ジユキア群橋内の貨車積荷中、下積の袋は殆んど浸入する程の大洪水となり河岸一帯は遂にヨウキア線アレクリン群附橋の流失、鐵道、通信の被損閑所に起り、同地帯の交通通信は一時には標高四七メートルのアレクリン群橋の内貨車積荷中、下積の袋は月を要する見込みであるが、同地附近在住者の被害は目下調

ある

邦人の被害は未だ判明しないがアレクリン附近に於ては婦人一名、子供二名が漏洩に死はれ死亡したのが始め、駅附近の邦商五軒が家屋流失、現金數コント

その他附近在住者の被害は目下調

る

所では實に六十年來の大洪水である

ある

豫算會議終る

豫算會議終る</p

信仰教育の 急務を叫ぶ



イツ ベーパ
後編 紫峰

人間の行為が感情と密接な關係を有し、信仰がまた最高の感情を喚起して人格に一大感化を及ぼすものであるから、教育に宗教を取り入れることを得るならば、効果を奏することが莫大であらうことは、識者の夙に認める所である。私の如きは見者でも常に其感を同じくせる所であるが、併しながら古に傳する宗敎の狀態を見るに、各宗各派各徒何れも自家の教義を固守して小枝相容れざる有様であるから、教育上にその何れか採つても言ふに忍びざる困難を生ずる恐れがあり、爲めに今日迄宗教を教育上に利用するの機會なく道徳教育に糠粃たらざるものゝ多さは、實に遺憾と謂はなければならぬ。

刻下に於ける思想問題の如きも、大多數の信仰が繋に足るべき一概共通の大宗教が現はれて教育

のものならでは恐らくは有り得ないであらう。されば假令今日新教が興るとしても、在來のすべての宗教に卓越する最も合理的な形で、且つ諸有ゆる階級を通じて信仰せしめ得る底のものならで、教育上に採り入れても決して効果のあるものではないから。又幸運にして斯かる缺點なき一來世に傳播する各宗各派各徒の隠然たる勢力をはまだ顧み難いものがあるからこれもまた言ふに忍びざる弊害を見えるに至るべきは見いだされたる。故に今日の場合如何に問題的でも新宗教を破壊せんとするでもなく、在來の宗教は宗教として何等これに一指をも觸るゝことなく、斯くて別に上下の各級に共通せしめ得べき合理的の御心を喚起する方法があるなら必ずしも教育上に利用し得ないも限るまいと思ふのである。

愚鴉強そ人ふふ教心です共思を幸
生るさる字減るぎきや貴方次

「新聞の倫理化」 紙面の淨化

古野菊生
上げたいのは
をちつとも讀
です

「……こするのであつた。

「アツ洋様、もう十二時よ。一
に御飯食べになくて……」
「サムひさしぶりだ。咲ちゃん走
ならう。」

福山家に女学校時代の五年間
一しょに過ごした五つの兄の洋
である。(洋吉には兄弟がない)
一人とか妹が無い。
妹の気持でゐるのは當然であら
か。ホーイを手で食堂の準備をな
せる間、咲子は心中、山川穂秀
訪れて來た事さ、前夜のフルベル
キ事件を語らうか、相談手をさ
ては「丁度好いと思つた。……が山
川は秘密を守る警ひがあるのである。
洋吉に言ふよりは、その母で
る福山少将夫人に……女は女同士
……さも考へた。

娘しさうに、今しがた山川輝秀
秘密語り合つたこも、興
味深く語り合つたこも、興
洋吉は口笛を吹き乍ら『醉物』
の額に見入つてゐる。

本の中のインチキ賭博女みたいな
あぐらをかいて、流石の男達を
喰はしたり、十一月十七日監視
訃きたいこそがあつたらどしき
きなほこ』と巻舌で大時代なた
かに切つなぞさくこそや、
に極く最近では東京府教育会全
に亘る不正事件など、など……

刈路素君に呈す

大新聞の社會面のいたるところに、貴方の理想を鼓動に叩きこむるに、貴方の隨喜御しておられる『

ユースな貴方のいはゆる禁句を見出すに困難なさらない苦です。わざさに想まの餘りにも醜惡な體的に一、二の例を挙げる事、

下

松田重正

アーヴィング、吾等が永住の地として營々として後園を画せる努力を是下は「祝せん」とするか、

鳴呼吾等の選出せる代議員日本系代表議員の議政壇上に歎声吼する事あらば、排日議論の如きは飛んで消へざるべきに、鳴呼日本人會は部藩自治の必要より下は専制統治を希望さるゝか、じたる自治権闘争なり、事業の最なるは學校經營にして、處々と機械化により道路衛生、外交等のここに携る等同聯説民をして渡波したるもる之等の日本人會はその經營費費であるが故に、伯人の加賀藩有するが故に、

なり、社會の諸相は至るくなづくに反映されてしまります、從つ日本の一の主流の大新聞に反映した。この社會惡、腐敗した社會の眞諦が、今日の前にみせつけられてしかも其氣持よく、上品な氣分になれる。方の神經は、レーニンの所謂鋼の神經」さでも云ふべく、貴方共産主義者でないのは遺念な次るもの少なき實なるも、拒否たるに非ず、冠婚葬祭等に於て常の交際關係に於て伯人を除外する所は、もつての外、學業懲親に通じて轉々他國者の悲喜も感する程云々として日本人を排斥せんとする可し、井中の蛙徒らに鳴動す。

一ロス氏に詣んで實地調査され事な希許するものなり

下の云ふ如く日本人會内の紛糾共にさつぱり洗ひ落し、湯上り快い身體を和服に着て涼快に吹かれたるが、何時もさゝに吹かれたるものだが、電車の笛、自動車の笛音、街行く人の聲、雜踏、何もかも動いてゐるそれがのが一つになつて生み出される音が、人々の心を騒ぎ減らし、せばしめ、そよした明け暮れにから、夕べの音は下りはじめハニ屋の馬車の音に朝の氣配がなくるも、もう五月、僕も首都に通してなり、月日の経つ早いに驚きつゝ、勉強の方の割に進歩しないのが悲しみかす。奥地ではもう眼にかな盤の光もれ、殘りの小盤があふる、裏のアーレラガには大爆布の音が怪まれる。夜に明夜交響曲のクレームは腰やかに合奏曲のクレームは腰やかにでつゝけられてゐることで、一日の労働の疲れた野風呂に汗共にさつぱり洗ひ落し、湯上り快い身體を和服に着て涼快に吹かれたるが、何時もさゝに吹かれたるものだが、電車の笛、自動車の笛音、街行く人の聲、雜踏、何もかも動いてゐるそれがのが一つになつて生み出される音が、人々の心を騒ぎ減らし、せばしめ、そよした明け暮れにから、夕べの音は下りはじめハニ屋の馬車の音に朝の氣配がなくるも、もう五月、僕も首都に通してなり、月日の経つ早いに驚きつゝ、勉強の方の割に進歩しないのが悲しみかす。奥地ではもう眼にかな盤の光もれ、殘りの小盤があふる、裏のアーレラガには大爆布の音が怪まれる。夜に明夜交響曲のクレームは腰やかに合奏曲のクレームは腰やかにでつゝけられてゐることで、一日の労働の疲れた野風呂に汗

強よん はり不あ中なあほやりす

社談讀會辦雄本日大 所行發(第三十七號、分卷二) 價一十八